

議 長	副議長	局 長	次 長	書 記

(様式2)



令和2年 2月25日

香美市議会議長 比与森 光俊 様

会 派 名 市民クラブ
代表者氏名 甲藤 邦廣



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

1. 日程

- 令和2年1月19日

2. 場所

- 徳島県三好市・美馬市脇町

3. 目的

- サテライトオフィス関連の視察研修
旧政海旅館・地域交流拠点施設「真鍋屋」
うだつの町並み（森邸、のどけや）

4. 該当する政務活動費の使途項目

- 調査研究費

5. 支出経費（内訳は裏面記載）

- 90,600円

6. 参加議員名

- 甲藤 邦廣・山本 芳男・為近 初男・利根 健二・久保 和昭
萩野 義和・山口 学

7. 調査研究成果の概要、所見

- 別紙添付

8. 成果物、資料等

- 別添

(裏面)

支出経費の内訳と金額

区 分			金 額
交 通 費	鉄 道	自 至	円
	船	自 至 往復	
	航 空	自 至 往復	円
	バス・ タクシー代	自 至	円
	借上料	自 至 香美市 徳島県三好市・美馬市 1往復 km	78,600円
宿 泊 費			円
参 加 費			視察料 (資料代含む) 12,000円
駐 車 場 代			
資 料 印 刷 費			円
会 場 費			円
講 師 謝 金	謝礼金		
	鉄 道	自 至 往復	
	船	自 至 往復	
	航 空	自 至 往復	
	バス・ タクシー代	自 至 往復 km	
	宿 泊		
	食事代		
	借上料		
合 計			90,600 円
(特記事項) ※鉄道等内訳			

視察研修報告書（令和２年２月２５日）

市民クラブ代表 甲藤 邦廣

- 視察日時 令和２年２月１９日 ９：００～１７：００
- 視察場所 徳島県三好市 美馬市脇町
- 視察目的 サテライトオフィス関連施設 うだつの町並み
- 参加議員 甲藤 邦廣・山本 芳男・為近 初男・利根 健二・久保 和昭
萩野 義和・山口 学・自由クラブ３名・公明党１名

「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」は、とくしま集落再生プロジェクトの一環として、２０１１年度より開始された。２０１８年１２月末現在で、サテライトオフィスの立地件数は６２社を数え、それに伴って一定程度の移住者を迎えるとともに、地元雇用をもたらしている。

サテライトオフィス６２社の市町村別内訳では、美波町の１７社を筆頭に神山町１６社、美馬市８社、三好市７社となっている。（２０１８年１２月末現在）。最初の実証試験が行われた神山町が当初はリードしていたが、その後、美波町急進した。

２０１６年度より総務省「お試しサテライトオフィス」モデル事業として「にし阿波・サテライトオフィス誘致促進事業」が実施されると、三好市、美馬市への進出が目立つようになった。大都市の企業がサテライトを設けたり、仕事場を移したりする場合は圧倒的に多い。

短期間での企業誘致の成功要因としては、①高速のブロードバンド環境の存在 ②優れた地域景観資源の存在 ③古民家など遊休建物ストックの存在 ④各市町におけるキーパーソンの存在 ⑤ジャストシステム社に関係した ICT 人材の存在 ⑥四国遍路に由来する「お接待文化」の存在である。と言われている。

（株）明日のチーム（旧政海旅館） １０：３０～１１：３０

三好市商工観光課 元木氏、竹原氏、（有）データプロ澤野氏から説明、案内を受けた。

旧政海旅館は取り壊し予定であったが、あしたのチーム高橋会長がオーナーと交渉し、三好市として SO 進出第 1 号となった。現在 6 社が旧政海旅館にオフィス設置。

地域交流拠点施設「真鍋屋」通称 MINDE 12:30~13:30

2016 年 7 月に商家（真鍋屋）の無償提供を受け、約 1 億 4 千 5 百万円で地域交流拠点施設として整備したものである。

施設の利用は、多世代交流、移住（サテライトオフィス誘致を含む）を目的とした利用が前提となっている。

お試し事務所はお試し住宅とセットで貸し出し。

施設の管理は、一般社団法人三好みらい創造推進協議会が指定管理。

美馬市脇町うだつの町並み（森邸、のどけや等）現地視察 14:30~

15:30

脇町のうだつの町並みは、脇城の城下町として成立し、藍の集積地として発展したものである。現在は明治時代頃のものを中心として江戸中期から昭和初期の 85 棟の伝統的建造物が立ち並んでいる。文化庁から（1988 年 12 月 16 日に重要伝統的建造物保存地区に全国 28 か所目を選定される。）

すでに複数のサテライトオフィスが進出しており、最近では、築 100 年以上の古民家を改装し、カフェや書店、雑貨店などの複合施設として、リニューアルする工事も進んでいる。

また、地域おこし会社「MIMA チャレンジ」も元商家の古民家を買取り、ホテルとレストラン整備も進めている。ホテルは、明治 14 年の棟札の残る森邸に整備。明治中期の建築の西山邸には、イタリアンレストランの整備も進んでいる。

同社では、うだつの町並みが旅行の目的地、滞在型の観光地になることを目指して、これまでになかった施設を創る予定で、別の古民家を活用して、起業を目指す人のための厨房や、菓子製造の設備を備えたテストキッチンの整備も計画している。

考 察

三好市は人口減少対策として、**地元雇用型サテライトオフィス**に特化して、(株)あしたのチームとともに誘致活動を展開している。

さらに、三好市単独でのサテライトオフィス誘致セミナーを開催して、積極的に企業誘致に努めている。

この2点に特徴があり、本気度がうかがえる。

高知県においても、県が主体の誘致セミナーが開催されているが、四万十市、宿毛市、本山町等での誘致実績はあるものの、進出企業数は少ないのが現状である。

香美市については、誘致セミナーそのものへの参加をしていない。

今後は市の方針として商工会、観光協会とも連携して誘致に積極的に取り組むべきである。

市民クラブ視察報告

視察日令和2年2月19日

市民クラブ 萩野義和

三好市池田町サテライトオフィス視察

池田町内の閉館した老舗旅館を若干の改装を行い、人口減少対策として都会の企業を誘致したものである。8社の企業が一拠点として入居し地元の人の雇用を行っている。

前々から徳島県が空き家を利用しIT企業を誘致していることは知っていましたが初めて内部に入り実際運営している企業の方の話も聞くことができました。徳島県は高知県に比べ商売が上手と聞いておりましたがやはりこういうことでも先行しているのかと少し残念な気持ちはしました。

池田町の中央通りにありましたが通りに人影はほとんどなくさびれていく町と感じられる一方で、秘かに新しい芽が出ている。そんな感じでした。

香美市でも例えば大柝高校を若干改装しIT企業を誘致することは十分考えられる。物部町はいま集落活動センターを立ち上げようとしているところですからこのようなことも選択肢の一つとして考えたい。実のある視察でした。

以上

領 収 証

香美市議会 様

金 額

778600

但し

3/19 貸切バス代 高速代

上記金額確かに領収致しました



令和 2 年 2 月 21 日

〒781-4212

高知県香美市香北町美良布1061番地1

有限会社

香 北 観 光

有限会社

香北観光トラベル

代表取締役 山中 盛世

電 話(0887)59-3393

受領者印



領収証

香美市議会

様

No T19-3

発行日 20 年 2 月 19 日

金額	¥ 16,000-
----	-----------

収入
印紙

但し 2/19(水) 振替料として

上記金額正に領収いたしました

市民クラブ 2000円 x 5人 + 1000円 x 2人 = 12000円

14545 自由クラブ 10000円 x 3人 = 30000円

1455 公明党 10000円 x 1人 = 10000円

<内訳>

税抜金額

消費税額

10 %

徳島県三好市池田町シンマチ1466

〒778-0004

TEL: 0883-72-2010

創造推進協議会